

「折り鶴に託された思いを昇華させるための取組」の 折り鶴を使用したカプセルトイ（ガチャ）が登場

広島平和資料館に寄贈された「折り鶴」とサステナブルな再生プラスチック（アクリル）などを使用したカプセルトイ用コンテンツ「折り鶴カプセル」を開発しました。



再生プラスチックなど、エシカルな素材を使用した商品開発に積極的に取り組む株式会社タイヨー（本社：〒461-0025 愛知県名古屋市東区徳川2-20-16／代表取締役：平林康徳）と、「あこや真珠ガチャ」の開発を手掛けたサルベージ・イノベーション・ラボ（〒791-3342 愛媛県喜多郡内子町河内2326-2／代表：満瀬智秀）が共同し、折り鶴と再生プラスチック（コロナ禍に大量に作られたパーテーションなど）を使用したカプセルトイ（ガチャ）用の製品を開発しました。折り鶴には様々な色などがあり、選択可能商材としては不向きな材料ですが、アソート商材としては、とても魅力的な材料です。アイテムにはキーホルダー、タグ、缶バッジ、マグネットなどがあり、全アイテムに折り鶴を使用しています。

さらに購入・着装することで平和や環境保護活動などへ間接的に参加出来るよう、収益の一部を任意の団体へ寄付を奨励するドネーション商材としての仕組みを取り入れています。

初号機を2025年2月5日（水）、広島市平和記念公園レストハウス（〒730-0811 広島県広島市中区中島町1-1）に設置、今後は全国の平和やSDGsを推進する企業や団体様にご提案していく予定です。

ホームページ <https://orizuru-capsule.jp/>

開発や製作において留意した点など

折り鶴を作った方々の気持ちを届けたい

平和への祈りを込めて、ひとつひとつ丁寧に作った方々の思いを、大切にしたいと考え、なるべく折り鶴をそのまま活かせる仕様にしました。

紙の弱点である水濡れに対し、小雨などの水濡れであれば問題のない仕様になっています。

エシカルな素材との組み合わせとドネーション

エシカルなリサイクル素材を使用することで、平和と地球温暖化防止への取り組みを同時に訴求できる商材を意識しました。

またドネーション付きにすることで「選べない」という商材のハンデを軽減しています。

多様なアイテム

基本アイテムは、折り鶴を入れたアクリル素材のタグ・キーホルダーと缶バッジですが、留具の形状やデザインを多様化させ、極力同じものが出ないよう工夫しました。缶バッジも安全ピンだけではなく、クリップやスタンド、マグネットなど数種類あります。

インバウンド用商材やPRグッズとして

2025年、戦後80年を迎えます。「折り鶴」は外国の方々にとって、日本人以上に価値を感じていただけていると思っています。インバウンド需要における店舗の差別化や、平和やSDGsを推進する企業や店舗様などのイメージやイベントのお役に立てればと考えています。

開発の経緯と今後の展望など（スタッフの声）

【サルベージI.L./満瀬】

私が「折り鶴再生プロジェクト」を知ったのは2017年でした。アソート商材に関心があったため、折り鶴は海外の方々に価値を感じていただけているのではないかと考えていました。

また、海外の友人を平和資料館に案内することもあり、その度に「我々人類がいかに愚かなのか、戦争で犠牲になるのは戦争を始める人たちではない」という話題になりました。

コロナ後に起きたウクライナやガザへの侵攻が、約100年前の歴史と重なり、早く始めるべきだと思い立ちました。2024年夏頃に株式会社タイヨー様に相談したところ、ご快諾いただき、共同事業として「折り鶴カプセル」を完成させることができました。（開発中の2024年秋に日本原爆被害者団体協議会がノーベル平和賞を受賞され、大変驚きました。）

今後は、折り鶴を含め、世界各地で戦禍に巻き込まれた方々への支援（医療品や必需品の一助となる）につながるドネーション商材の開発なども視野に入れ、日本文化の一つとなっているカプセルトイ（ガチャ）が世界で役立つことを願っています。

【株式会社タイヨー/伊藤】

ノベルティグッズ制作会社である弊社が、2020年にエシカル事業部を立ち上げました。以来、環境に配慮した樹脂ブランド「re:Rezin」シリーズを始め、水族館の水槽に落ちているサメの歯を使ったキーホルダー、競馬場の砂を材料に配合した陶芸品、野球場の芝生を使ったボールペン、コロナ禍で使われたアクリルパーティションを回収して作った防犯砂利など、様々なアップサイクルプロダクトの開発に携わって参りました。

そんな折に「折り鶴再生プロジェクト」のお話をいただき、今まで積み上げてきた、「環境に配慮したモノづくり」の経験を生かす機会が訪れたと考え、プロジェクトへの参加を即決いたしました。

まだまだ歩き出したばかりのプロジェクトですが、ひとりでも多くの方に「折り鶴カプセル」をお届けし、何より平和への祈りが全世界へ飛び立つ事を願っております。

お問い合わせ先

未来と平和の製作委員会 事務局
愛媛県松山市保免中3丁目7-41-105
満瀬 智秀（サルベージI.L.）
mase.salvage@orizuru-capsule.jp
080-8635-6395
<https://www.salvage.co.jp/>

株式会社タイヨー/担当/伊藤 敦
ito.taiyo@orizuru-capsule.jp
090-8133-1868
<https://taiyo-web.co.jp/>